



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月31日

上場会社名 日東富士製粉株式会社 上場取引所 東
コード番号 2003 URL <https://www.nittofujii.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮原 朋宏
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 坂田 喜章 (TEL) 03-3553-8781
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月4日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	35,410	6.9	2,347	△0.3	2,590	2.2	1,510	△13.7
2023年3月期第2四半期	33,127	17.6	2,355	12.3	2,535	8.7	1,750	△1.9

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 2,136百万円(△14.6%) 2023年3月期第2四半期 2,501百万円(23.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	165.92	—
2023年3月期第2四半期	192.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	60,270	46,800	77.5
2023年3月期	60,944	45,558	74.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 46,732百万円 2023年3月期 45,498百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	77.00	—	98.00	175.00
2024年3月期	—	75.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	101.00	176.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,000	6.4	5,200	△1.9	5,500	△4.0	4,000	1.0	439.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期2Q	9,384,728株	2023年3月期	9,384,728株
2024年3月期2Q	279,277株	2023年3月期	278,983株
2024年3月期2Q	9,105,610株	2023年3月期2Q	9,105,860株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、「添付資料」3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期につきましては、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、社会・経済活動は緩やかな回復傾向が見られました。一方、緊迫した世界情勢に加え、円安の進行等により、依然として先行きが不透明な状況となっております。

このような状況の中、当社グループは、2024年度を最終年度とする中期経営計画「New Foundation for the Future」の達成に向け、「原料調達・製造・販売・開発・物流」全部門の連携を強化し、①成長を支える設備・人材投資、②グループ経営基盤及び連携の強化、③海外ミックス粉事業の面展開と小麦粉の輸出拡大、④美味しさと健康を軸とした製品ラインナップの拡充、⑤「主食を通じた食と健康の課題解決」につながる新規事業機会の創出、の5つの重点戦略に取り組んでおります。

当社グループの第2四半期の業績につきましては、主力の小麦粉の販売数量は若干減少しましたが、外国産小麦の政府売渡価格の引き上げ（昨年10月は据置き、当年4月に平均5.8%）に伴う小麦粉販売価格改定の影響等もあり、売上高は354億1千万円（前年同期比6.9%増）と増収になりました。利益面につきましては、経常利益は25億9千万円（前年同期比2.2%増）と増益になりましたが、投資有価証券評価損を計上したこともあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億1千万円（前年同期比13.7%減）と減益になりました。

(前年同期間比)

(単位：百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	33,127	35,410	2,283	6.9%
営業利益	2,355	2,347	△7	△0.3%
経常利益	2,535	2,590	55	2.2%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1,750	1,510	△239	△13.7%

〔セグメント別営業概況〕

① 製粉及び食品事業

(単位：百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	28,573	30,271	1,697	5.9%
営業利益	2,249	2,230	△18	△0.8%

「製粉及び食品事業」につきましては、外国産小麦の政府売渡価格の引き上げに伴う小麦粉販売価格の改定実施等により、売上高は前年同期比5.9%増の302億7千1百万円となりました。営業利益につきましては、小麦粉販売価格改定に伴い売上総利益は増益となりましたが、物価高騰等による販売管理費及び一般管理費の増加を吸収できず、前年同期比0.8%減の22億3千万円となりました。

なお、本年4月に外国産小麦の政府売渡価格が平均5.8%引き上げられたことに伴い、当社においても6月20日納品分より小麦粉製品の価格を改定しております。

② 外食事業

(単位：百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	4,488	5,069	581	12.9%
営業利益	16	34	17	106.8%

「外食事業」の棚さわやか（当連結対象期間1月～6月）につきましては、主力のケンタッキーフライドチキン店のキャンペーン商品の販売好調などにより、売上高は前年同期比12.9%増加し50億6千9百万円となりました。営業利益も、増収に伴う売上総利益の増益により、3千4百万円（前年同期比106.8%増）となりました。

③ 運送事業

(単位：百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	1,007	981	△26	△2.6%
営業利益	74	66	△8	△11.1%

「運送事業」の日東富士運輸㈱につきましては、売上高は、前年同期比2.6%減少の9億8千1百万円となりました。営業利益も、コスト削減に努めましたが、減収に伴う売上総利益の減益により、6千6百万円（前年同期比 11.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産の状況は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	2023年3月期	2023年9月期	比較
流動資産	32,103	30,390	△1,712
固定資産	28,841	29,879	1,037
資産計	60,944	60,270	△674
流動負債	11,384	9,323	△2,061
固定負債	4,002	4,145	143
負債計	15,386	13,469	△1,917
純資産	45,558	46,800	1,242
負債・純資産計	60,944	60,270	△674

流動資産は303億9千万円で、受取手形及び売掛金や商品及び製品が増加した一方、短期貸付金（キャッシュ・マネジメント・システムによる実質的な現金及び現金同等物）や原材料及び貯蔵品が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ17億1千2百万円減少しました。固定資産は298億7千9百万円で、時価評価による投資有価証券の増加や生産設備等の更新・改修による有形固定資産の取得等により、前連結会計年度末に比べ10億3千7百万円増加しました。この結果、資産合計は602億7千万円となり、前連結会計年度末に比べ6億7千4百万円減少しました。

流動負債は 93億2千3百万円で、支払手形及び買掛金や流動負債その他（未払金）が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ20億6千1百万円減少しました。固定負債は41億4千5百万円で、繰延税金負債が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ1億4千3百万円増加しました。この結果、負債合計は134億6千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億1千7百万円減少しました。

純資産は利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ12億4千2百万円増加し、468億円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.8%増加して77.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当上半期におけるわが国経済は、外出機会が増え外食関連需要やインバウンド需要により、新型コロナで縮小した経済活動は徐々に正常化に向かい、企業の景況観は改善されてきております。来四半期以降につきましても、中東・ウクライナ情勢を中心とした地政学リスクや人手不足の深刻化、ならびに実質賃金減少による節約志向の高まりなどの懸念要因はありますが、わが国の経済成長は緩やかな景気回復基調が続くものと予想しております。

一方、中長期的には、気候変動・地球温暖化への対応や世界的な食料安全保障上のリスクの高まりも想定した原料の安定調達なども、当社グループに影響を与える経営課題として認識しております。

このような中、現時点において2024年3月期(2023年度)の業績見通しは、連結売上高740億円(対前期比6.4%増)、連結経常利益55億円(対前期比4.0%減)、親会社株主に帰属する当期純利益40億円(対前期比1.0%増)と2023年5月8日発表の業績予想から変更はありません。

なお、今後の業績動向により当社グループの業績見通しに修正の必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,101	1,187
受取手形及び売掛金	10,099	10,579
商品及び製品	3,071	3,362
原材料及び貯蔵品	9,901	9,266
短期貸付金	6,872	5,298
その他	1,063	704
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	32,103	30,390
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,806	5,754
機械装置及び運搬具（純額）	4,417	4,805
土地	4,647	4,655
建設仮勘定	264	556
その他（純額）	468	485
有形固定資産合計	15,604	16,256
無形固定資産		
のれん	13	0
その他	507	501
無形固定資産合計	520	502
投資その他の資産		
投資有価証券	9,329	9,778
差入保証金	814	809
退職給付に係る資産	2,171	2,124
繰延税金資産	139	146
その他	309	307
貸倒引当金	△48	△47
投資その他の資産合計	12,716	13,120
固定資産合計	28,841	29,879
資産合計	60,944	60,270

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,154	4,833
短期借入金	500	500
未払法人税等	841	748
賞与引当金	581	525
役員賞与引当金	29	11
その他	3,277	2,705
流動負債合計	11,384	9,323
固定負債		
繰延税金負債	2,937	3,125
役員退職慰労引当金	99	41
退職給付に係る負債	322	297
資産除去債務	504	540
その他	137	140
固定負債合計	4,002	4,145
負債合計	15,386	13,469
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,500	2,500
資本剰余金	4,049	4,049
利益剰余金	34,603	35,221
自己株式	△474	△476
株主資本合計	40,677	41,294
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,467	4,935
繰延ヘッジ損益	2	2
為替換算調整勘定	295	446
退職給付に係る調整累計額	55	53
その他の包括利益累計額合計	4,820	5,437
非支配株主持分	59	68
純資産合計	45,558	46,800
負債純資産合計	60,944	60,270

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	33,127	35,410
売上原価	25,616	27,582
売上総利益	7,510	7,827
販売費及び一般管理費		
販売手数料	365	412
販売運賃	1,395	1,389
貸倒引当金繰入額	0	0
給料及び手当	1,137	1,206
賞与引当金繰入額	193	206
役員賞与引当金繰入額	11	11
退職給付費用	31	39
役員退職慰労引当金繰入額	10	5
のれん償却額	10	9
その他	1,998	2,198
販売費及び一般管理費合計	5,155	5,479
営業利益	2,355	2,347
営業外収益		
受取利息	4	8
受取配当金	65	75
固定資産賃貸料	116	118
為替差益	-	23
その他	48	43
営業外収益合計	234	268
営業外費用		
支払利息	1	1
租税公課	-	5
為替差損	39	-
海外子会社駐在員に係る源泉所得税負担額	6	8
その他	8	11
営業外費用合計	54	25
経常利益	2,535	2,590

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	0	2
投資有価証券売却益	8	-
協力金収入	49	-
特別利益合計	59	2
特別損失		
固定資産売却損	1	-
固定資産除却損	38	32
減損損失	9	36
事業譲渡損	-	8
投資有価証券評価損	-	236
特別損失合計	48	313
税金等調整前四半期純利益	2,546	2,279
法人税、住民税及び事業税	775	790
法人税等調整額	12	△25
法人税等合計	787	764
四半期純利益	1,758	1,514
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,750	1,510
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	3
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	556	468
繰延ヘッジ損益	23	△0
為替換算調整勘定	187	156
退職給付に係る調整額	△23	△2
その他の包括利益合計	743	622
四半期包括利益	2,501	2,136
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,485	2,127
非支配株主に係る四半期包括利益	16	9

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,546	2,279
減価償却費	677	739
減損損失	9	36
のれん償却額	10	9
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△155	△59
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△31	△18
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	45	46
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△1	△24
退職給付費用 (組替調整分)	△33	△3
受取利息及び受取配当金	△70	△84
支払利息	1	1
投資有価証券売却損益 (△は益)	△8	-
投資有価証券評価損	-	236
固定資産売却損益 (△は益)	0	△2
固定資産除却損	38	32
事業譲渡損益 (△は益)	-	8
協力金収入	△49	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△591	△463
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,785	374
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	91	355
仕入債務の増減額 (△は減少)	△429	△1,332
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△79	△34
その他	△112	△69
小計	69	2,027
利息及び配当金の受取額	69	83
利息の支払額	△1	△1
協力金の受取額	49	-
法人税等の支払額	△875	△883
その他	6	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	△681	1,226

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△146	92
有形固定資産の取得による支出	△1,232	△1,859
有形固定資産の売却による収入	0	2
無形固定資産の取得による支出	△111	△24
投資有価証券の取得による支出	△10	△10
投資有価証券の売却による収入	26	-
差入保証金の差入による支出	△5	△11
差入保証金の回収による収入	0	16
その他	△51	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,529	△1,814
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△774	△892
自己株式の取得による支出	△0	△1
その他	△0	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△774	△893
現金及び現金同等物に係る換算差額	226	79
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,759	△1,403
現金及び現金同等物の期首残高	9,804	7,885
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,045	6,481

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、2023年5月19日開催の取締役会において、2023年6月29日開催の定時株主総会終結の時をもって役員退職慰労金制度を廃止することを決議し、同株主総会において役員退職慰労金の打ち切り支給について承認可決されました。これに伴い、「役員退職慰労引当金」を取崩し、打ち切り支給額の未払金39百万円を流動負債の「その他」に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 財務諸表 計上額
	製粉及び 食品事業	外食事業	運送事業	計		
国内事業(注3)	27,020	4,487	70	31,579	—	31,579
海外事業(注3)	1,548	—	—	1,548	—	1,548
顧客との契約から生じる収益	28,569	4,487	70	33,127	—	33,127
売上高						
外部顧客への売上高	28,569	4,487	70	33,127	—	33,127
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	0	937	942	△942	—
計	28,573	4,488	1,007	34,069	△942	33,127
セグメント利益	2,249	16	74	2,340	14	2,355

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 所在地別の売上収益は、事業拠点の所在地を基礎として分類しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「外食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、前第2四半期連結累計期間において9百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 財務諸表 計上額
	製粉及び 食品事業	外食事業	運送事業	計		
国内事業(注3)	29,060	5,068	76	34,205	—	34,205
海外事業(注3)	1,204	—	—	1,204	—	1,204
顧客との契約から生じる収益	30,265	5,068	76	35,410	—	35,410
売上高						
外部顧客への売上高	30,265	5,068	76	35,410	—	35,410
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5	0	905	911	△911	—
計	30,271	5,069	981	36,322	△911	35,410
セグメント利益	2,230	34	66	2,331	15	2,347

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 所在地別の売上収益は、事業拠点の所在地を基礎として分類しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「外食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において36百万円であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。